

湖南省教育だより

令和6年(2024年)9月16日

No.2



発行 湖南省教育委員会教育研究所
湖南省石部中央一丁目1番1号 西庁舎内

TEL 0748-77-7052(直通) FAX 0748-77-4101(代)
Mail edkonan006@edu-konan.jp



湖南省保育士教職員全員研修会



「楽しくて力のつく湖南省教育」は「学びの保障」「仲間づくり」「ふるさと意識の醸成」の三本柱を中心に、自尊感情の向上を目指し取り組んでいます。

中でも、地域との協働による学校教育の取組は湖南省の強みであり、市制20周年を記念して、市内小中学校での取組を、市民の皆様と湖南省保育士・教職員が共に知る機会としました。

小・中学校教員274名、園関係者14名、議員・CS関係者等27名の総勢計315名が参加し、大いに盛り上がりました。

- ①イントロダクション 法山 由紀子 教育研究所長
「湖南省の地域とともにある学校づくり
～地域との連携・協働で子どもたちの自尊感情を育む～」

子どもたちにとって縦でも、横でもない「ななめの関係」にあるのが地域の方々。地域の方は、自分を評価することなく、まるごと受け止め、認めてくれる人だからこそ、知らず知らずに子どもたちの自尊感情が高まる。これが地域との協働で、大きな力となることを再確認しました。

- ②「湖南省だいすき 湖南省教育応援団」による
パネルディスカッション
「湖南省教育に期待すること」

各中学校区の卒業生が1名ずつ（高校生・大学生）、学校運営協議会等のメンバーと一緒に、小中学校時代に大人とのかかわりの中での印象や、やってみて充実感があったこと、これからの湖南省の教育でやってほしいと願うこと等についてパネルディスカッションを行いました。



- ③講演 庄子 寛之先生
（湖南省ウェルビーイングコンシェルジュ〈WBC〉）
「湖南省みんなのウェルビーイングの向上
～湖南省教育の強みを活かして～」

庄子先生からは、仕事や家庭や自分自身の生き方等を照らし合わせながら自分のウェルビーイングを高めていくことの大切さを教えていただきました。

湖南省教師力アップセミナー

各主任会等で、「アップセミナーを行うかどうか」や「どんな構成にするのか」を考えてもらったことで、参加者が受講してみたいような研修会が多かったように感じます。魅力あるセミナーの中から、自分の行きたいものに参加できることは、素敵なことだと感じました。この学びを2学期からの毎日に活かしていきましょう。



特別支援教育の視点から、
幼保小連携について考える



ICT授業推進WGメンバーと2
学期の授業実践（指導案）を
考えよう！



道徳教育の充実をめざして



やってみよう！
消しゴムはんこづくり



端末の日常活用を
体験しよう！



オクリンクプラスの共同編
集機能を使って、協働学習
と個別最適な学びを実現さ
せよう！



採点支援システム講習会～
時間のゆとりが教育の質を
高める～



やってみたい、みんながで
きる体育科の学習Ⅱ



ことばの教室ってこんなと
ころ！～ことばの教室見学
会～



インプロやろうよ ～体感
型コミュニケーション～

「初めて消しゴムハンコを作らせていただきました。作りやすいポイントを教えていただいたおかげで、初めてでもとても楽しく活動することが出来ました。授業でも取り組んでみたいと思います。」(やってみよう！消しゴムはんこづくり)

「毎回取り組む課題はもちろん、その後の遊びの時間にも色々な力が育めるようなゲームが用意されていた。負けると気持ちのコントロールが難しい子もクラスにいますので、ここで見たものを参考にクラスでも取り入れていきたい。」(ことばの教室ってこんなところ！～ことばの教室見学会～)

「自分自身整理整頓が苦手なままや人に教えるなんてとても難しいと考えてこの研修を選びました。たくさんのワーク、体験を通じて何故整理整頓が大事なのか、そして整理整頓ができるようになることでどんな力が付くかなどを学びました。5年生の学習ではグループ活動をするのですが、「ただ整理整頓しましょう」ではなく手順を考えたり、取捨選択の理由を話し合ったりしながら美しい引き出しの中を完成させていくという過程にたくさんの学びがあるなあと思いました。自分の生活でも生かしていきたいです。(片付けのプロが伝える！小学5年生「整理整とん」出前授業 ～引き出し教材実践ワーク～)

「つついあれをさせてこれをさせて…と考えてしまっていたましたが、子どもの「なぜ」を授業づくりの出発にすることを意識していきたいと感じました。また、絵の具セットの基本の使い方など知っているようでちゃんとわかっていなかったことを知ることができてよかったです。にじみ、ぼかし、グラデーションを実際にやってみましたが、難しく面白かったです。にじみをどう生かすかぼかしをどうするか、考えることが子どもたちの成長につながるんだということを改めて実感しました。」(平面作品の技法に関わる研修会～水彩絵の具の視点から～)

(参加者の振り返りから)